

〈人権教育にかかわる年間指導計画〉

4年

【基本的な考え方】
 ○だれに対しても差別することや偏見をもつことなく過ごせるようにするとともに、国家・社会の一員としての自覚が育つような指導を展開する。

【年間指導計画作成のための方針】
 ○各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間において、社会性や豊かな人間性を育むために、様々な体験活動を取り入れた授業を展開
 ○人権課題「子ども」・「高齢者」・「障害者」を中心に進めていく。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	学級目標に人権教育のねらいを位置づける 児童相互の関係を把握する。		自分の大切さを認めることを中心と 児童相互のかかわりあいを		他の人の大切さを認めることを中心とした指導 児童相互で友だちのよいところを見つけ、発表しあう。			互いを大切さを認めることを中心とした指導 自分と違う考えや意見も認めあう。			
各教科 読書科	理科:季節の生き物(春) 体育:西っこソーラン		国語:「一つの花」 読書科 理科:季節の生き物		理科:季節の生き物(秋) 社会:東京をきずいた人			読書科 国語:「スワンレイクのほとり」 理科:季節の生き物(冬) 保健:よりよく体を発育させるには			
道徳	つながるやさしさ(思いやり)	かっこいいせなか(勤労)	ゆめに向かって泳ぐ(希望と勇)	日本人が世界に広めたすごいもの	道徳地区公開講座		おばあちゃんとの思い出(生命の尊さ)	やっべし(郷土愛)	タイガとココア(自然愛護)	あいさつでつながる(礼儀)	世界の子どものために(国際理)
礼儀 いつもきちんと自分から進んで元気なあいさつをする。											
特別活動	1年生を迎える会		学級活動:人権について話し合う						6年生を送る会		
たてわり活動 異学年の友達と交流し、思いやりの心や尊敬の気持ちをもつ。											
総合的な学習の時間	みんなで考えよう、ユニバーサルデザインのまち								プロに学ぼう、職業研究		
学校行事・その他	保護者会、個人面談、地域訪問 児童一人一人の実態を把握する		運動会 地域の高齢者を招き、一緒に楽しむ。		音楽会:お互いの演目のよいところを見つける。 個人面談 一人一人のよさを伝える			チャリティー募金:世界の子どものことについて関心をもつ			
読書活動 (「読書タイム」・「ボランティアによる読み聞かせ」・「おすすめの本の紹介」・「リーディングバディ」・「読書郵便」)											
校内研究	学び合う力とコミュニケーション力の向上										